

信篤 (SHINTOKU)

市川市議会議員

松永おさみ

いちかわ

後援会だより

第47号

事務所 原木 1-22-16

電話 047-327-1470

www.matsunaga-o.net

2月予算議会

二十五年度予算決まる
総額微減 二、一二五億円余

平成二十五年度の予算を審議する二月議会が二月十八日から三月二十二日迄の三十三日間の日程で開催されました。市長から提案された議案は、予算関係は一般会計、特別会計、補正予算を含めて十六案、条例関係は二十一案、人事案件は六案、その他八案で合計五十一議案でありました。これらの議案は、審議の結果全て原案通り可決されました。松永おさみ市議は、一般質問を行い二俣の国設宿舍の廃止問題をはじめ、地元の懸案事項について市の考え方を質しましたので、その概要をお知らせします。

二俣の国設宿舍の廃止に伴う影響と

その対応について

質問① 『廃止に至った経緯、事前協議の有無、今後の対応と見通しを伺う』

② 『二俣小、二俣幼稚園への影響は』

③ 『跡地利用を含めた課題と今後国に話し合いを求める考えは』

答弁① 『昭和四十四年、約九・三haの敷地に三十棟約千三百戸の規模で建設された一団の宿舍である。平成十九年財務省から建替えの影響について、市の意見や要望を提示されたいとの相談があった。昨年十一月に正式に廃止となる宿舍が公表され、二俣の宿舍二十八棟が対象となった。その後千葉財務事務所と密に連絡を取り合うことを確認した。今後のスケジュールとして二十七年九月末までに退去し、二十九年三月までに売却処分の手続きを行う事とされている。売却は一般競争入札が原則だが、国が地域や社会のニーズに対応して国有財産の有効活用を図っていく方針を示している。事前に協議・連絡を図ることが可能と考えられる。そこで売却までの期間千葉財務事務所と連絡を定期的に行っていく』 ※裏面に続く

史上初 女性副市長が誕生

遠峰副市長の任期満了に伴い、後任選任の人事議案が提出され議会は同意しました。新副市長に選任された佐藤尚美さん(現文化国際部長)は、市政史上初の女性副市長として四月一日付で就任、任期は四年、女性としてのきめ細かい視点からの市政運営に期待が寄せられています。

新年度予算に基づく予算額、税負担額の内容一覽

今回は市川市と国の数値に併せて、隣接の船橋市分を掲載しましたので参考にして下さい。なお市川市の予算総額は、前年度比〇、二%四億円減の二、一二五億八千万円であります

人口1人あたり、1世帯あたり予算額(市川市・国)

区分	項目	平成25年度	平成24年度	比較	
				増減額	増減率
1. 市の予算	一般会計	127,100,000千円	133,800,000千円	-6,700,000千円	-5.0%
人口 468,615人	1人あたり	271,225円	283,672円	-12,447円	-4.4%
世帯 222,618世帯	1世帯あたり	570,933円	598,818円	-27,885円	-4.7%
2. 国の予算	一般会計	92,611,500,000千円	90,333,900,000千円	2,277,600,000千円	2.5%
人口 127,554,000人	1人あたり	726,057円	706,750円	19,307円	2.7%

※市の人口及び世帯数は24年12月31日現在、国の人口は24年8月1日現在です。

人口1人あたり、1世帯あたり税負担額(市川市・国)

区分	項目	平成25年度	平成24年度	比較	
				増減額	増減率
1. 市税	一般会計	76,874,000千円	77,177,000千円	-303,000千円	-0.4%
人口 468,615人	1人あたり	164,045円	163,624円	421円	0.3%
世帯 222,618世帯	1世帯あたり	345,318円	345,404円	-86円	0.0%
2. 国税	一般会計	430,960億円	423,460億円	7,500億円	1.8%
人口 127,554,000人	1人あたり	337,865円	331,304円	6,561円	2.0%

※市の人口及び世帯数は24年12月31日現在、国の人口は24年8月1日現在です。

人口1人あたり、1世帯あたり予算額(船橋市)

区分	項目	平成25年度	平成24年度	比較	
				増減額	増減率
1. 市の予算	一般会計	179,200,000千円	173,550,000千円	5,650,000千円	3.3%
人口 616,020人	1人あたり	290,900円	287,852円	3,048円	1.1%
世帯 276,050世帯	1世帯あたり	649,158円	646,520円	2,638円	0.4%

※市の人口及び世帯数は25年2月1日現在です。(住民基本台帳人口)

人口1人あたり、1世帯あたり税負担額(船橋市)

区分	項目	平成25年度	平成24年度	比較	
				増減額	増減率
1. 市税	一般会計	93,942,000千円	92,477,200千円	1,464,800千円	1.6%
人口 616,020人	1人あたり	152,498円	153,383円	-885円	-0.6%
世帯 276,050世帯	1世帯あたり	340,308円	344,502円	-4,194円	-1.2%

※市の人口及び世帯数は25年2月1日現在です。(住民基本台帳人口)

答弁② 『二俣小は児童数こそ減少はするが、学校運営はほぼこれまで通りの体制と考えており、小学校への影響は少ないと予想している。二俣幼稚園への影響を想定したが、全ての世帯が転居された場合、四才と五才クラスが一学級となり、保育・教育面での学級間交流や園行事等に支障が生じるところを懸念する。そして、跡地利用の動向を注視して抽速な結論とならないよう関係部署とも連携し、子ども子育て新システムが施行された際の幼児教育のあり方を含め、総合的に検討を進めたい』

③ 『庁内の二俣宿舎に関係する八部で協議を始めた。当該地の新たな土地利用は、周辺環境への十分な配慮と地域の活性化の視点で検討しなければならぬと考え、適正な土地利用に向けた協議を国や県と行ってまいります。跡地利用を考えた場合、土地利用の用途は準工業地域である、敷地に入る道路が少ない、学校が隣接している、二俣新町駅までの歩行用通路が少ない、下水道などの都市基盤が不足している等の課題がある。そこで跡地を有効に利用する為には、敷地までの新たな進入路や公共施設の過不足を検討する必要があるため、庁内会議を継続し課題の解決に向け取り組んでいく』

※要望 国が売却する方向であれば、市が半分でも三分の一でも取得し、防災施設や運動施設を建設されるよう市はスピードをもって市の意見を取りまとめ、国と協議されるよう要望した。

市長答弁 『この土地の売却に当たっては、市と事前協議ができるものとされている。ここは準工業地域であるので住工混在は避けたい。又購入をとの話だが、厳しい財政状況、予算配分の優先順位、順番待ちの事業等で、非常に難しいと考える。ただ良好な民間開発を誘導して、都市計画法などうまく制度を活用することで、事業者から土地の一部提供してもらおうとか、公共施設を整備して頂くことは可能だと思ふ。国とも十分時間をかけて協議し、二俣地区にふさわしい土地利用を進めてまいりたいと考えている』

二俣地先の歩道整備策は

質問① 『二俣川へのふたかけと歩道整備の見通しは』

② 『官地の不法占拠家屋対策は』

答弁① 『県は、二俣川の上流を利用して歩道空間を生み出す計画を立て、川を管理している船橋市と地元市川市と協議の結果、ボックスカルバートによる整備を計画している。現在詳細設計中で工事はJR京葉線までの四百M、工期・時期は未定である』

② 『不法占拠の三家屋の撤去については、県営住宅の斡旋等行っているが、未だ了解を頂けないが、引き続き要請をしていく』

入学・入園式 平成二十五年度の日程

◎ 小学校入学式 四月九日(火) 午前十時より

○ 信篤小学校 新一年生 一七五人

全体では、二七クラス 九二〇人で市内で四番目

二十四年度卒業生は 一四二人

○ 二俣小学校 新一年生 七六人

全体で一三クラス 三九九人

二十四年度卒業生 五五人

◎ 高谷中学校入学式 四月十日(水) 午前十時より

新一年生 一五六人

全体で十四クラス 四七三人 市内で十三番目

二十四年度卒業生 一七三人

◎ 幼稚園入園式 四月十一日(木) 午前十時より

信篤幼稚園 新入園児 六三人 卒園児 七八人

二俣幼稚園 新入園児 二七人 卒園児 四三人

原木幼稚園 新入園児 四九人 卒園児 七三人